



# 『チャコの家』 まるわかり解説！

気密編



弊社がおすすめしている『チャコの家』は気密・断熱・換気に優れた住宅システムです。前回の断熱編に引き続き、今回は「気密」に関するさまざまな特徴を詳しく解説します。最後に『チャコの家』のことがもっと理解できる楽しいクイズ（QRコード）を用意しておりますので、ぜひチャレンジしてみてくださいね！

POINT

01

「気密」は健康に直結します

気密とは「隙間」を減らし室内の空気と外気が簡単に出入りできないよう密閉する性能のことです。気密性能が低い住宅は、冷暖房効率が悪い・足元が寒いなどの状態になりやすく、ヒートショックを起こす可能性があります。



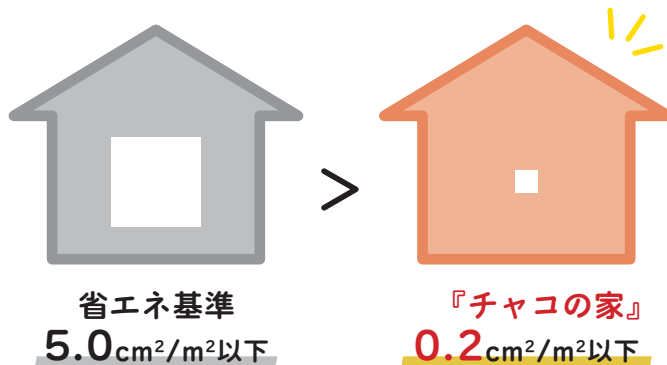
また、結露を起こしカビの発生・粉塵や花粉の侵入によってアレルギーを引き起こすなど、健康を害する原因にもなります。一方で『チャコの家』は硬質ウレタンパネルと高性能な窓・玄関ドア、さらに特殊な気密テープで処理することにより、高い気密性能を実現しています！

POINT

02

『チャコの家』の隙間面積は  
たったの $0.2\text{cm}^2/\text{m}^2$ 以下！

●相当隙間面積＝C値



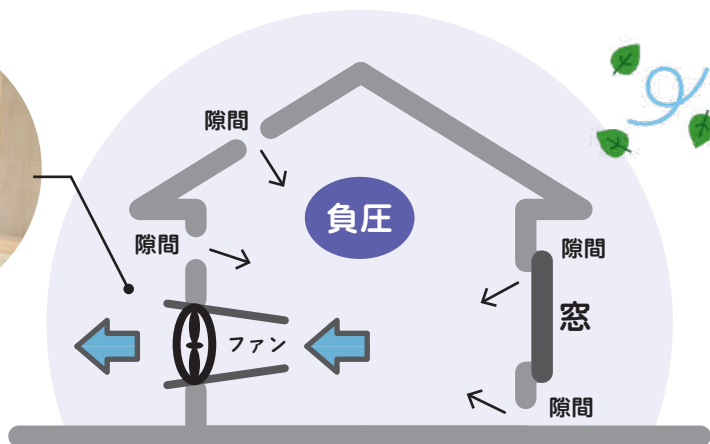
気密性能は相当隙間面積（C値）という指標で表され、この数値が小さいほど気密性能が高いということになります。また『チャコの家』は、次世代省エネ基準よりも約16倍以上の気密性能を有しています。40坪程度の住宅全体ではおよそ名刺半分ほどの隙間となり、高気密な住宅といえます。

POINT

03

どうやって気密を測っている？

気密測定は大きなファンで建物内の空気を外に排出して行きます。小さい隙間しか空いていない建物では、外に排出した空気と同じ分だけの空気を取り込めなくなり、室内が負圧になることで気密の数値が小さくなります。この数値（隙間面積）が小さい住宅ほど冷暖房などのエネルギーロスが少なくなるだけでなく、正しい計画換気をするためにも非常に重要なのです。



『チャコの家』まるわかりクイズ！

気密編

スマートフォンなどで左のQRコードを読み込んで、クイズに挑戦してみてください。